

立憲民主党 岩手県総支部連合会



〒020-0022

盛岡市大通三丁目1番24号

第三菱和ビル5F

TEL.019-625-7852



りっけん いわて 県連通信 No.40

2025.8.31号

選挙区（横沢氏）は圧勝も、比例得票は2位と課題を残す 全国的には「立憲民主党の敗北」と厳しい総括

岩手県連は8月29日常任幹事会を開き、7月の参院選の総括案を協議しました。佐々木順一代表は、「選挙区は圧勝と言ってもよい。比例は全国トップの得票率を得たが、自民党の後塵を拝し課題を残した。次の選挙に向けて実のある総括となるよう協議いただきたい」と挨拶しました。

今回の総括ではSNS戦略も報告され、YouTubeショートやX・Facebook・Instagram・バナー広告など一定の発信ができたものの、SNSを行っていない地方議員もあり拡散が不十分だったこと。今後SNSの開設支援を行い、意識改革と行動変容の必要性が示されました。

また、比例得票は党勢を如実に表し、自民党批判の受け皿になれず既成政党への批判と危機感を共有すべき結果とし、敗北の原因を「国民の期待に応える活動をしてきたのか、国民の求める政策を掲げられたのか」という根本姿勢にある」とし、党本部の姿勢にも言及しました。



（総括抜粋） 岩手選挙区においては横沢氏が26市町村で勝利し、衆院の2区でも全体で勝利するなど、他候補を圧倒して勝利。必勝区と位置付けられた岩手で面目を施す形となった。岩手県の比例区においても、立憲民主党の得票率は全国トップの座を守ったが、県内での得票率は自民党に肉薄したものの僅差で及ばず2位に甘んじた。

全国的には自公で過半数を割ったものの政権交代には至らず、立憲民主党は野党第一党の座こそ死守したものの、議席は横ばい、比例区における得票は野党第3位に転落するなど、「事実上の政権選択選挙」と位置付けたことを踏まえれば間違いなく敗北したと言わざるを得ない。

－ 今後の動き －

- ★ 次期衆院選に向け、岩手2区総支部長（候補者）の選定作業に入ること。
- ★ 一関市議選（9/21 告示）に藤代崇氏から公認申請があり、本部に上申すること。
- ★ 立憲セミナー（仮称）の開催を基本戦略委員会（関根代表代行）に一任すること。
- ★ 市町村要望ヒアリングを9/1～実施すること。